

【採択内容一覧】

3DCG・360°VR映像による設計・現場シミュレーション（株コプロス）

工事の施工可否検討のため、ベテラン社員が何度も現地に出向き検証を行っており、負担がかかっている。

⇒施工前の現場に3次元CGを投影して現場シミュレーションを行うことで、遠隔地から施工可否検討を行うとともに、現場に360度カメラを設置し社内と状況を共有することで、現場まで遠いことが多く、教育が困難であった若手社員の早期育成体制を構築する。

物流支援ロボットを活用した無人搬送化の実証（JRCS株）

重量がある材料を、台車等を使い人力で毎日約6～7キロメートル運搬しており、作業効率の改善と省人化が課題となっている。

⇒追従や自律走行が可能な物流支援ロボットを活用することで、業務の効率化を行う。

AI画像認識＋5G通信を活用した工場内監視効率化の実証（UBE株）

駐車場への無許可車両駐車や工場内への不審者侵入、ヘルメット未着用者などの監視のため、工場施設全体について従業員が見回りをする場面が多い。

⇒AI画像認識と5G通信を活用した無許可車両発見の実証を行うとともに、工場内の様々な場面で、AI画像認識技術と5G通信を活用した安全管理業務の効率化につながる実証を行う。

ARグラスを利用した遠隔作業支援と3Dモデル教育コンテンツを利用した人材育成（長州産業株）

家庭用太陽電池の故障対応を行う際、若手作業員一人ではその場での対応が難しく、後日熟練作業員による対応になることがあるため、業務効率が悪く、利用者にも不便をかけている。

⇒ARグラスを活用し、熟練作業員が遠隔から現地を確認して作業支援を行うことで、故障対応の効率化を図るとともに、3Dモデルを使った若手作業員教育コンテンツの作成にも取り組む。